

Uniface10 簡易インストールガイド (Windows)



ご注意

・この資料の一部または全部を、株式会社シナプスインペーションの書面による事前の許可なく、いかなる形態においても使用、複製、開示することはできません。

・この資料の記載事項は、将来予告なしに変更されることがあります。

Uniface は、Uniface B.V.の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名は関連するそれぞれの会社の商標または登録商標です。

資料番号 SU1022017-001

発行日 2017年7月1日 第1版

2018年10月1日 第2版

■■■■テクニカル・サポートのご案内■■■■

オンライン・サポート・サイト	テクニカル・サービスデスク
Uniface 製品およびサポートに関する追加情報は、弊社 Uniface サポート・サイトで提供されています。 https://www.synapse-i.jp/uniface-support	営業時間 月～金 9:30～17:30 (祝祭日、弊社休業日は除く) Uniface 製品の利用に関する技術的な質問やサポートに対するお問い合わせ窓口として、テクニカル・サービスデスクを設置しています。 お問い合わせの際は、弊社 Uniface サポート・サイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

第1章 本書の概要

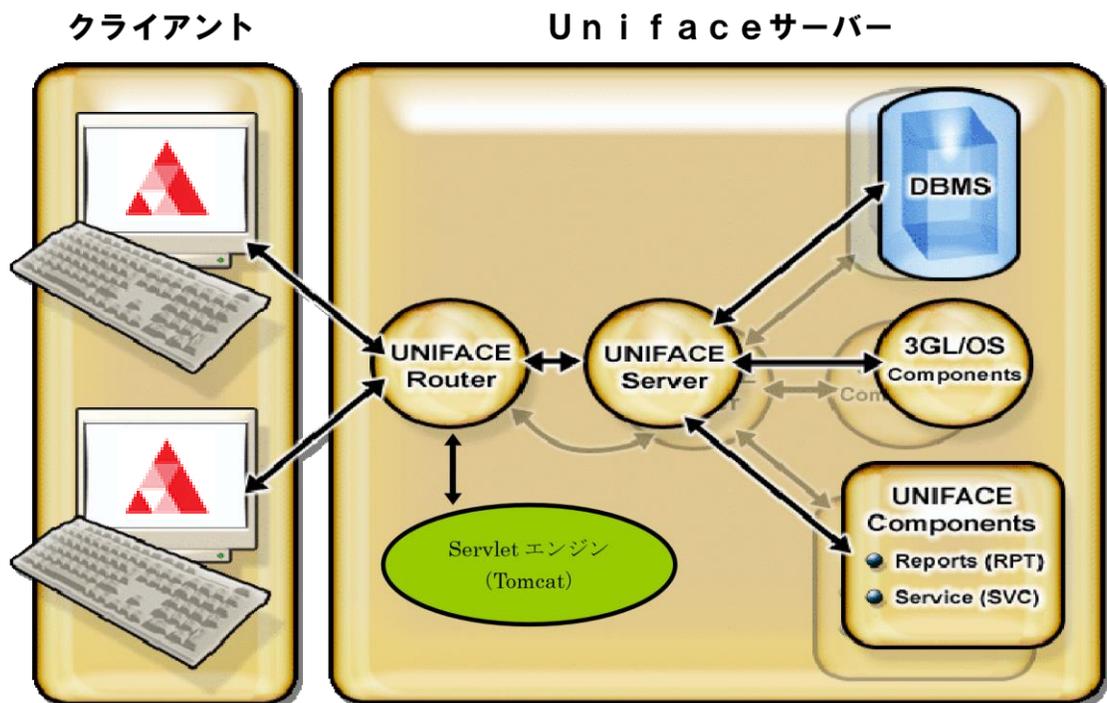
本資料は Uniface のバージョン 10 を Windows 環境へインストールする際の手順を説明したものです。導入時の参考資料としてお使いください。

なお、本資料を作成するにあたって、OS は Windows7 を例として記述しておりますが、他の OS との相違点につきましては、お客様の環境に合わせて内容を置き換えてお読みください。また、本資料では Uniface バージョン **10.3.01** を使用しております。

第2章 Uniface10 のサーバー構成

Uniface 10 では、Uniface Router (Urouter)というモジュールがクライアントとサーバー (Uniface Application Server)の間のコミュニケーションの仲介を行います。

クライアントからサーバーへリクエストを受け取ると Urouter は、そのリクエストを Uniface Application Server (Uniface Server、または Userver と表現されることもあります)に処理を渡します。Userver が起動していない場合、Urouter は自動的に新しい Userver を起動します。この Userver プロセスは、Uniface Seven 時代のモジュール:PSV、CSV、ASV (WASV) が果たしていた機能に相当します。(それぞれの機能を実行するに当たっては別途ライセンスが必要になりますのでご注意ください)



第3章 インストールの準備

インストールを開始する前に以下の準備を行っておく必要があります。

3-1. ライセンスファイルの取得

Uniface を使用される際には Uniface 社から発行されたライセンスが必要となります。インストール作業を行う前に必ず取得ください。詳細は担当営業までお問い合わせください。(Oracle、SQL Server 等特定のデータベースを使用する場合には、該当するデータベースのライセンスも必要です)

注意: Uniface 10 をインストールすると、ライセンスマネージャ(DLM)もバージョン 9.1 が自動的にインストールされます。以前のバージョンのライセンスマネージャが存在した場合には自動的にアップグレードされます。

まず初めに Uniface をインストールするためのユーザー(例:uniface)を OS 上に作成します。

このユーザーはできる限り他のアプリケーションと共有しない、Uniface のみで使用するユーザーとしてご用意ください。特に権限等で特別なものは必要ありません。ファイルの読み込み／書き込み権限があればインストールは可能です。

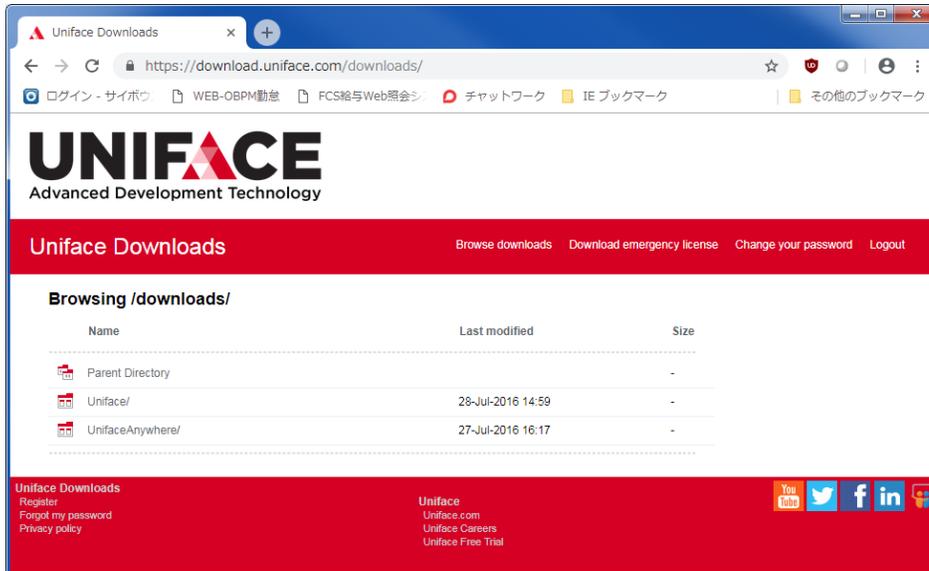
3-2. インストールメディア

Uniface を使用するには、Uniface 社が提供しているダウンロードサイトよりインストールモジュールを取得する必要があります。

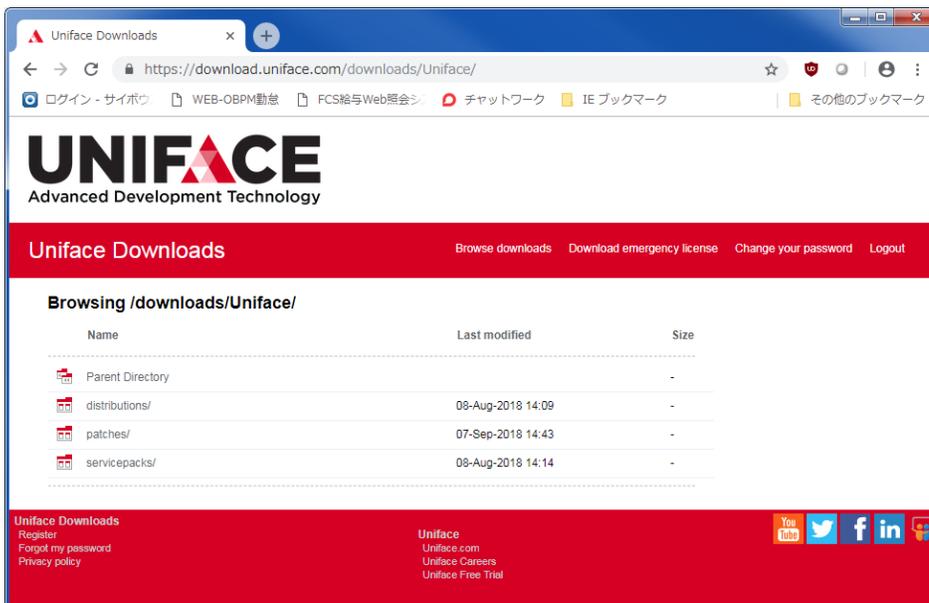
ダウンロードサイトにアクセスするにはユーザー登録(無料)が必要です。詳しくは別途資料『Uniface Downloads 簡易登録ガイド』をご参照ください。

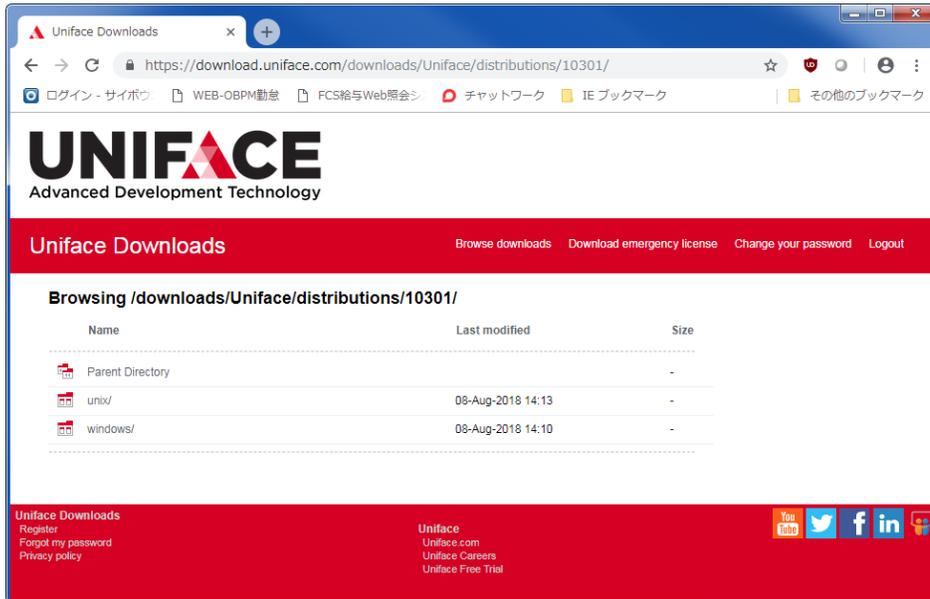
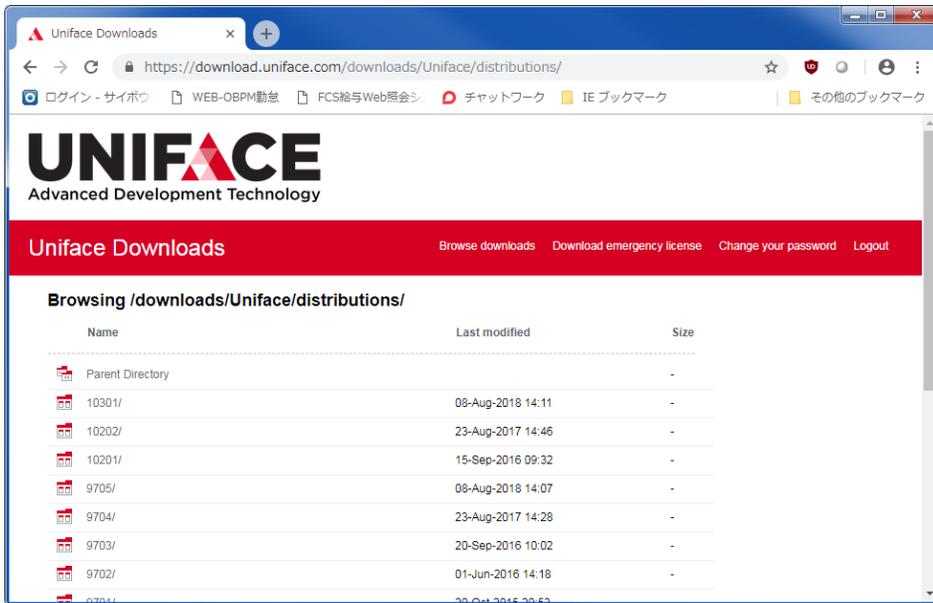
ここではダウンロードサイトにログインした前提で、Uniface 10.3.01 のインストールモジュール取得について説明します。

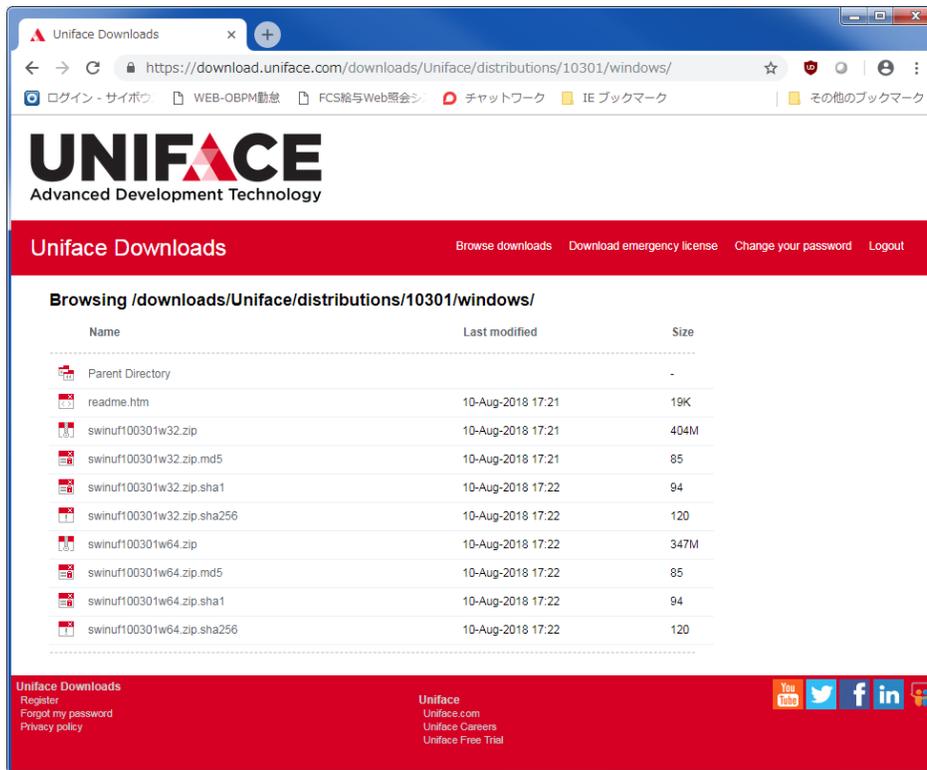
ログイン直後は下記の画面が表示されます。



ここから、「Uniface」→「distributions」→「10301」→「windows」と進んでください。







ファイルの一覧が表示されたら、「swinuf100301w32.zip」を「対象をファイルに保存....」でダウンロードしてください。

なお、物理メディアをご希望の場合は担当営業までお問い合わせください。

3-3. 最新パッチのダウンロード

お客様のインストールされる Uniface バージョンに対応した最新パッチをダウンロードしてください。本書で扱う 10.3.01 のパッチはダウンロードサイトの下記 URL よりダウンロードできます。

<https://download.uniface.com/downloads/Uniface/patches/10301/w32/>

3-4. パスワード設定の制限解除

インストール作業中に、Uniface Server および Uniface Router のサービスを起動するユーザとパスワードを入力するよう求められます。

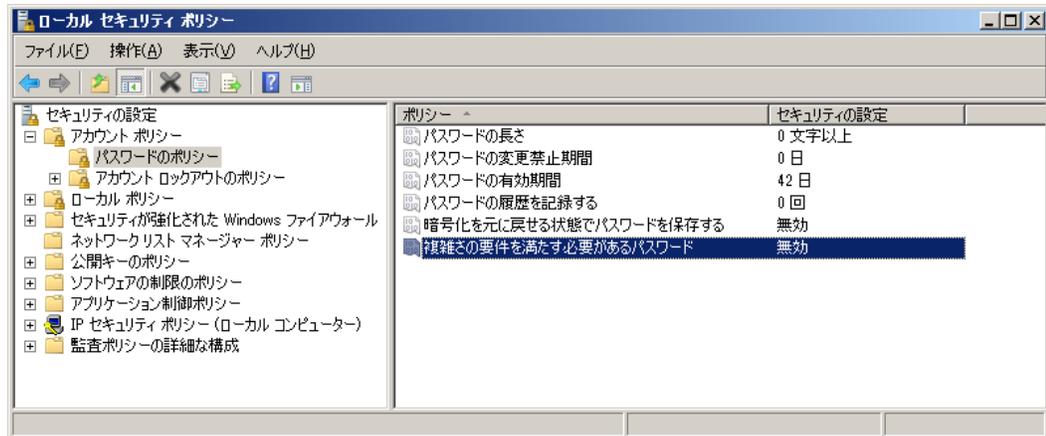
(「4-2. インストーラの起動」参照)

この時に表示されるパスワードのデフォルト値は比較的簡易な値となっていますが、パスワード設定について複雑な文字列を設定するよう制限が掛けられていると、そのまま進んだ場合にエラーとなり、ユーザが作成されない事があります。

なお、複雑な文字列のパスワードを設定してインストールを進める場合は、「第4章 Uniface10 のインストール」に進んでください。

万が一失敗した場合は、以下の手順で確認頂き、ユーザを手動で作成してください。

- 1)「管理ツール」→「ローカル セキュリティ ポリシー」を開き、「アカウント ポリシー」→「パスワードのポリシー」を選択します。



- 2)「複雑さの要件を満たす必要があるパスワード」ポリシーの設定が「有効」になっている場合、ダブルクリックでプロパティを開き、「有効」から「無効」に変更してください。



- 3) 変更後、「OK」ボタンでプロパティを閉じ、また「ローカル セキュリティ ポリシー」画面を終了してください。
なお、再起動の必要はありません。

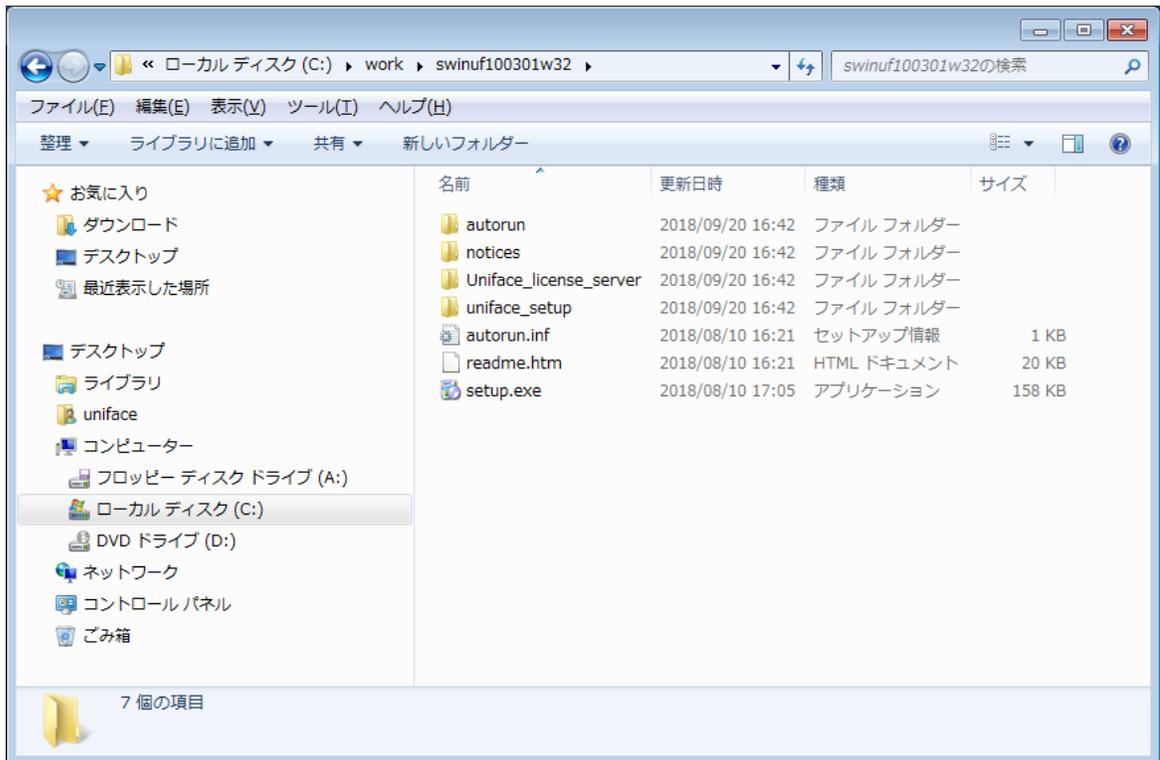
- 4) インストール時にユーザ作成がエラーとなった場合は、「管理ツール」→「コンピュータの管理」を開き、ユーザの作成やパスワードの変更を実施してください。
なお、ユーザの作成は Uniface Router のコマンドラインオプションからも行う事ができます。
例えば、urouter ユーザを作成するには下記のように指定します。
(インストール先を C:\uni10301 とします)
C:\uni10301\common\bin\urouter.exe /newacc urouter /passwd (任意のパスワード)
このコマンドは、必ず**管理者権限**を有するユーザで実行してください。
また、パスワードを省略するとセキュリティポリシーの設定によってはエラーとなり、ユーザが作成できませんのでご注意ください。
“/newacc” オプションの詳細は、「Uniface Library」の「Uniface Reference」→「Command Line Switches」→「/newacc」をご覧ください。

第4章 Uniface 10 のインストール

4-1. インストールモジュールの展開

ダウンロードしたインストールモジュール(ZIP ファイル)を、右クリックから「すべて展開」を選択して任意の場所に展開します。

本書では「C:\work\swinuf100301w32」に展開するものとします。



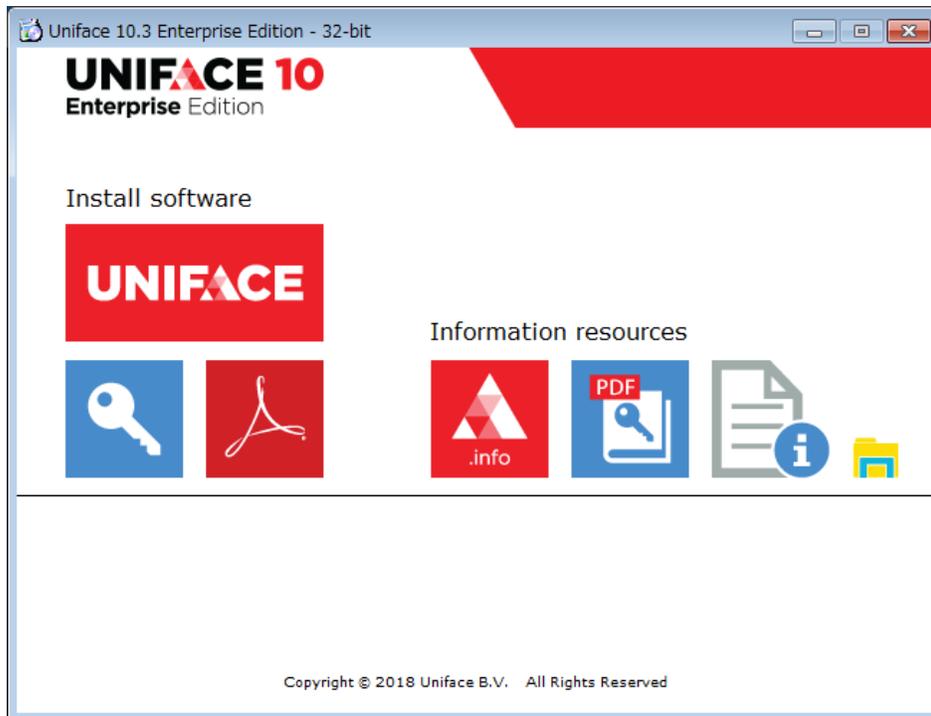
4-2. インストーラの起動

インストールモジュールを展開した場所から、「setup.exe」を右クリックし「管理者として実行」を選択、起動してください。

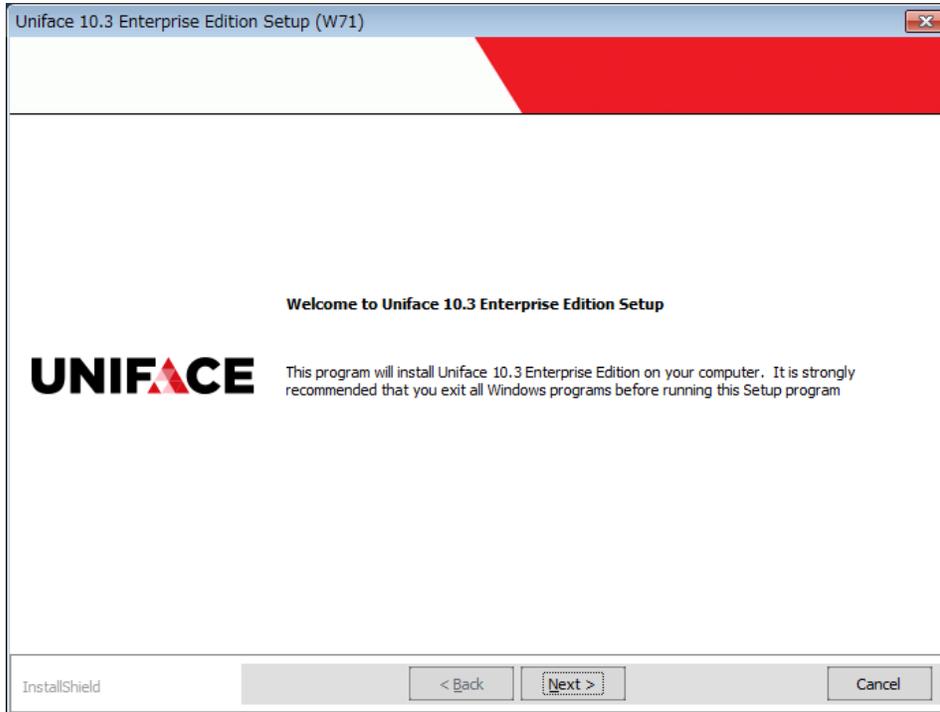
注意: 「setup.exe」を起動する際、「setup.exe」までのパスが長くなりすぎないようにご注意ください。起動時のパスが長すぎると、エラーが発生しインストールが中断される可能性があります。

インストーラの初期画面が表示されます。

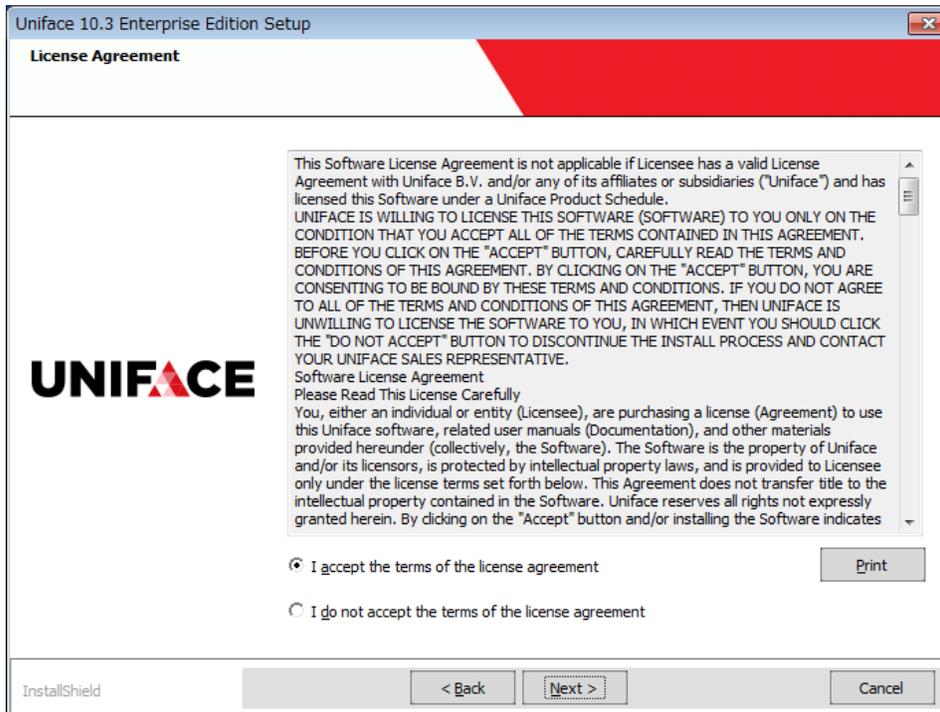
「Install software」の Uniface ロゴをクリックすると、インストールが開始されます。



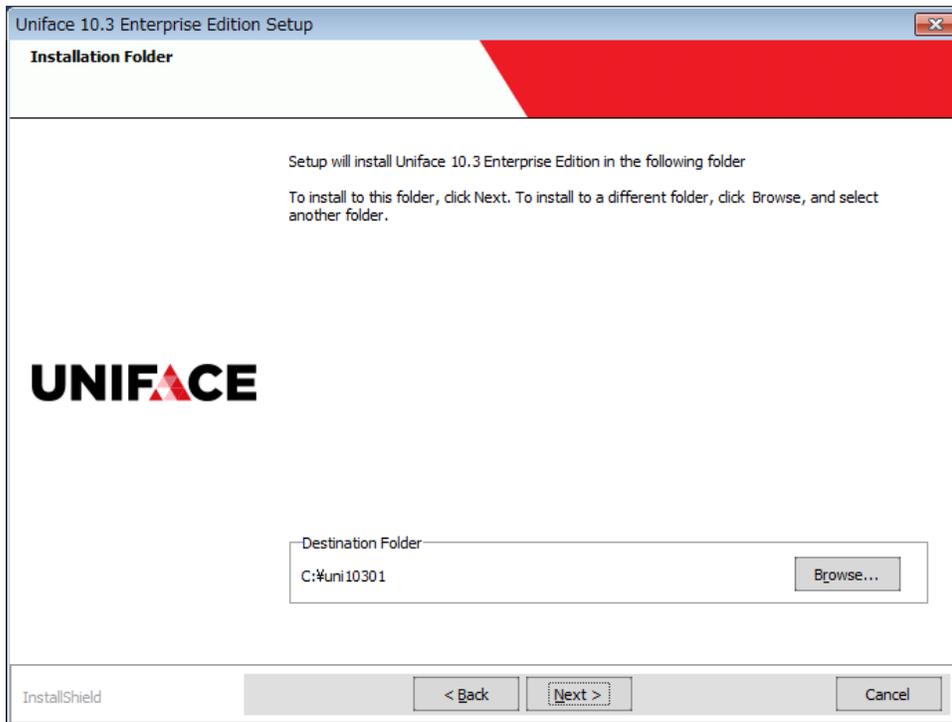
「Welcome to Uniface 10 Enterprise Edition Setup」が表示されますので「Next」をクリックします。



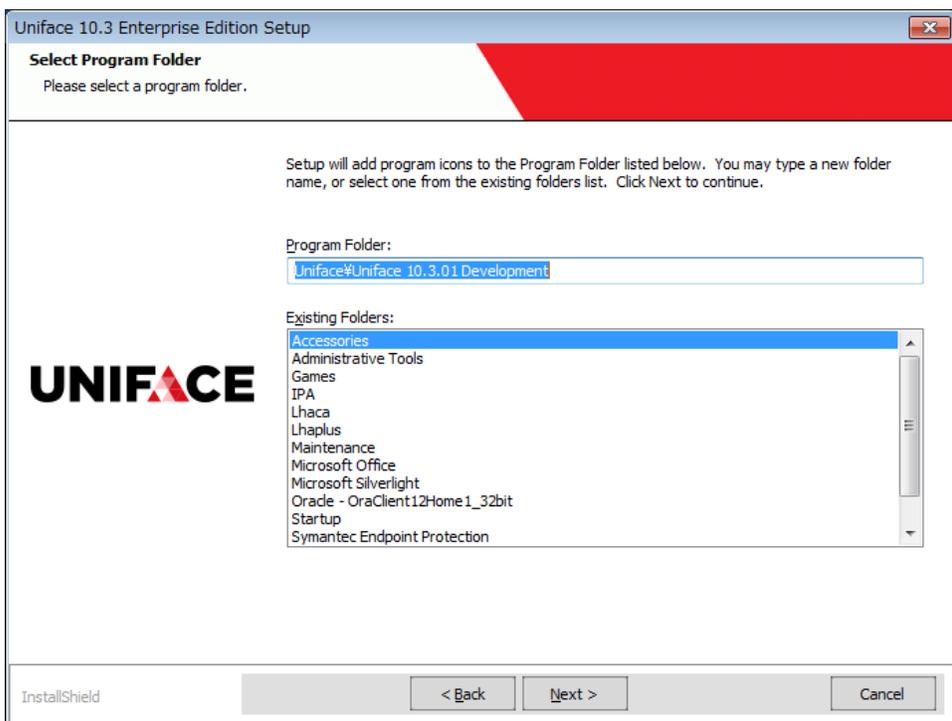
使用許諾の画面が表示されますので、「I accept the terms of the license agreement」を選択して「Next」をクリックします。



インストール先を指定する画面が表示されます。
ここではインストール先を「C:\uni10301」とします。



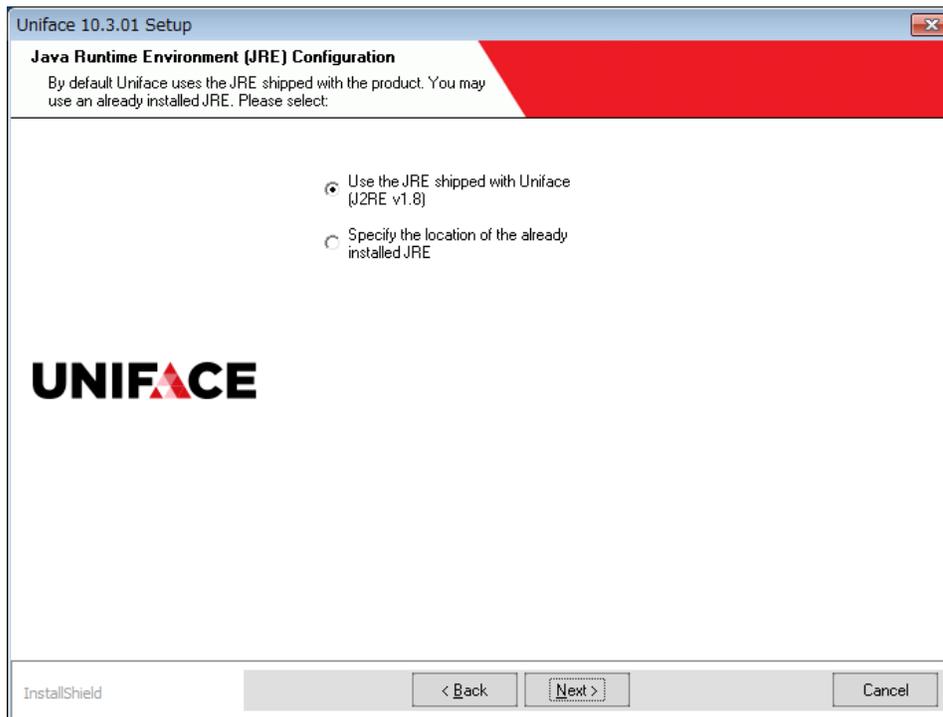
スタートメニューのフォルダ指定はデフォルトのままにします。

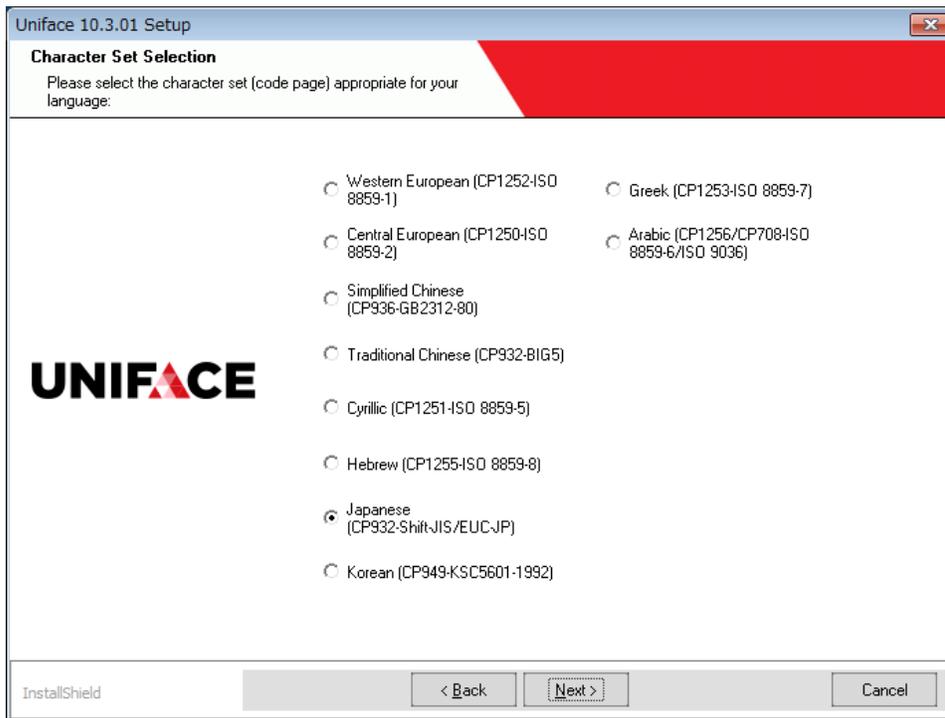


ユーザーデータやプログラムの配置場所は「C:\%uni103dev」とします。

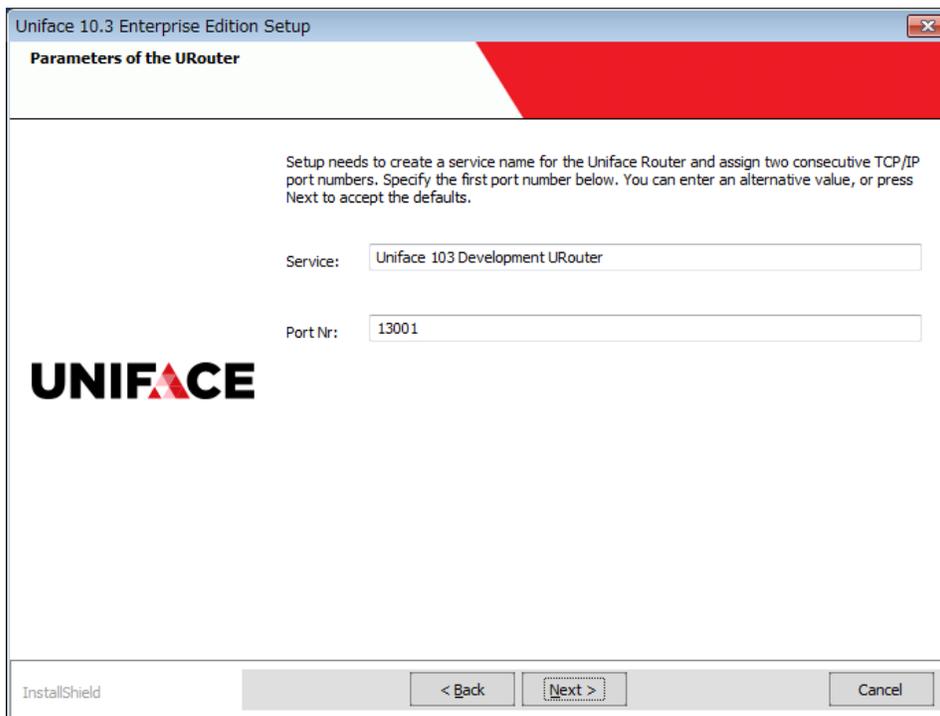


Java ランタイムは「shipped with Uniface」が、言語は「Japanese」が選択されています。

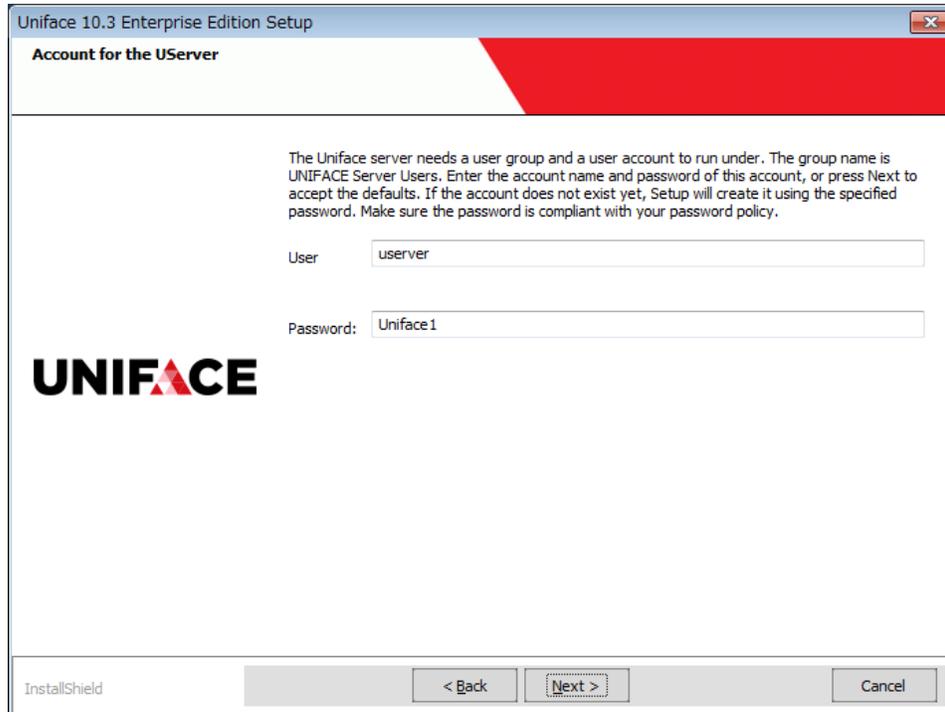




Uniface Router のサービス設定はデフォルトのまま進めます。

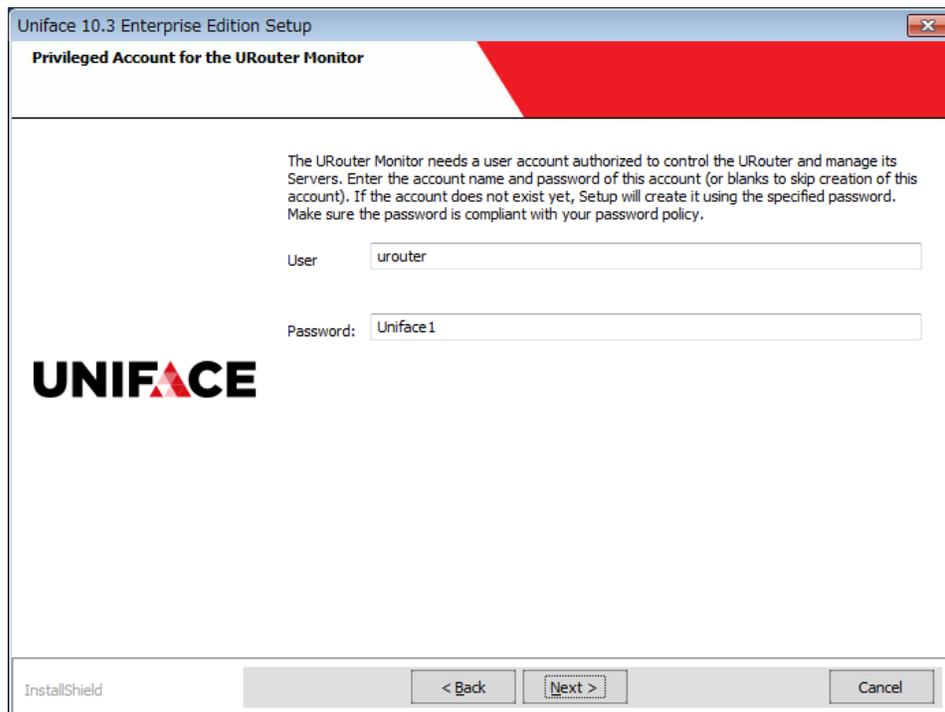


Uniface Server 用のユーザ ID、パスワードが提示されます。
必要に応じて変更してください。



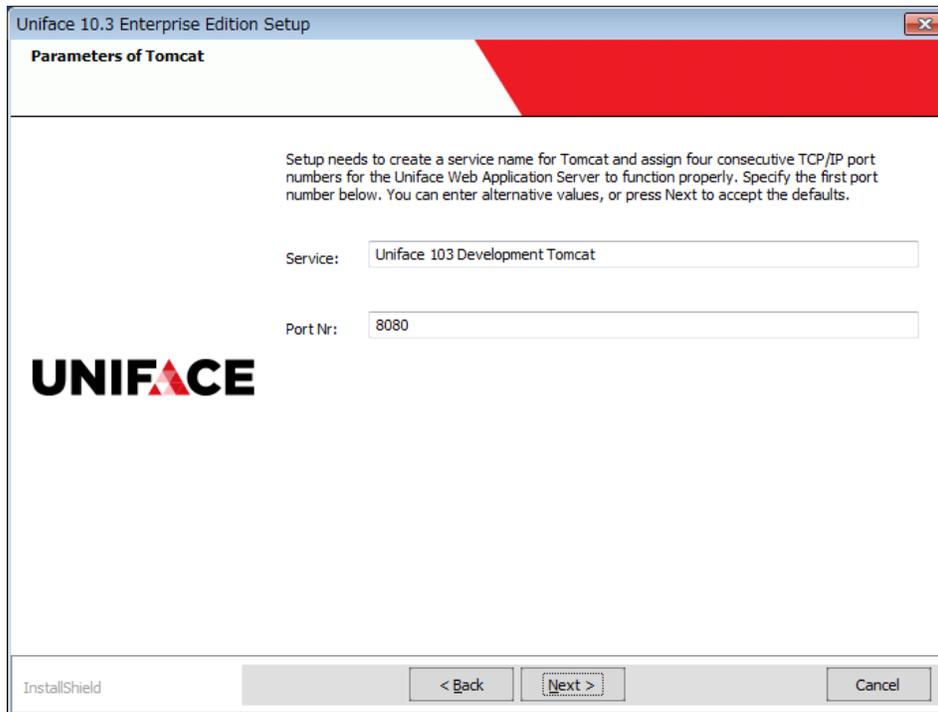
The screenshot shows the 'Uniface 10.3 Enterprise Edition Setup' window with the title 'Account for the UServer'. The main text reads: 'The Uniface server needs a user group and a user account to run under. The group name is UNIFACE Server Users. Enter the account name and password of this account, or press Next to accept the defaults. If the account does not exist yet, Setup will create it using the specified password. Make sure the password is compliant with your password policy.' Below this text are two input fields: 'User' with the value 'userver' and 'Password' with the value 'Uniface1'. The UNIFACE logo is displayed on the left side. At the bottom, there are buttons for '< Back', 'Next >', and 'Cancel', along with an 'InstallShield' logo.

Uniface Router 用のユーザ ID、パスワードが提示されます。
必要に応じて変更してください。

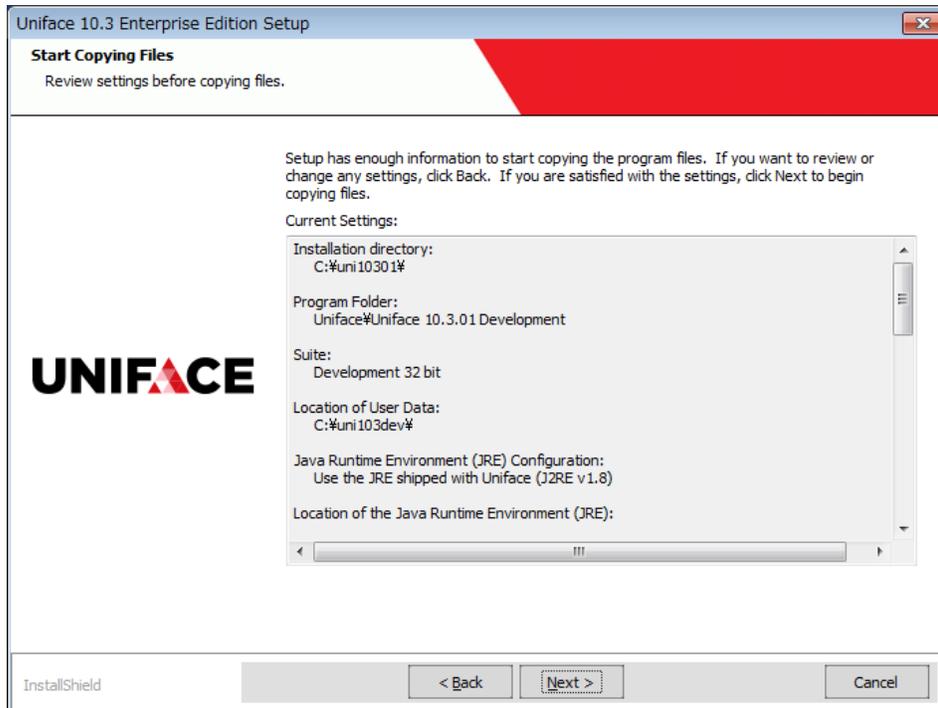


The screenshot shows the 'Uniface 10.3 Enterprise Edition Setup' window with the title 'Privileged Account for the URouter Monitor'. The main text reads: 'The URouter Monitor needs a user account authorized to control the URouter and manage its Servers. Enter the account name and password of this account (or blanks to skip creation of this account). If the account does not exist yet, Setup will create it using the specified password. Make sure the password is compliant with your password policy.' Below this text are two input fields: 'User' with the value 'urouter' and 'Password' with the value 'Uniface1'. The UNIFACE logo is displayed on the left side. At the bottom, there are buttons for '< Back', 'Next >', and 'Cancel', along with an 'InstallShield' logo.

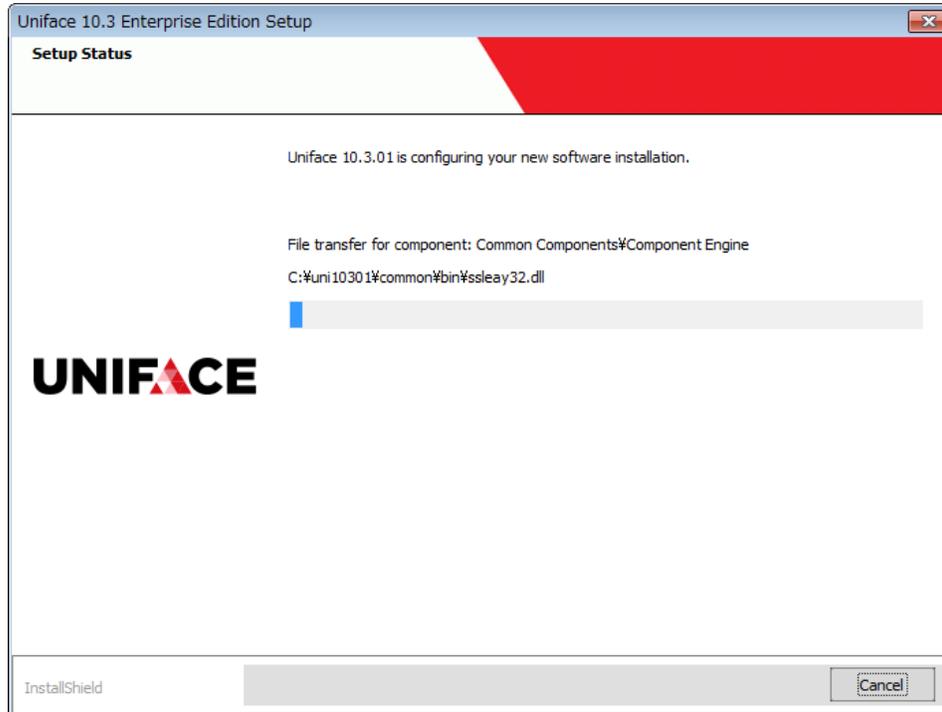
Uniface Web アプリケーションサーバで使用される Tomcat のサービス名と使用するポート番号が提示されますので、必要に応じて変更してください。



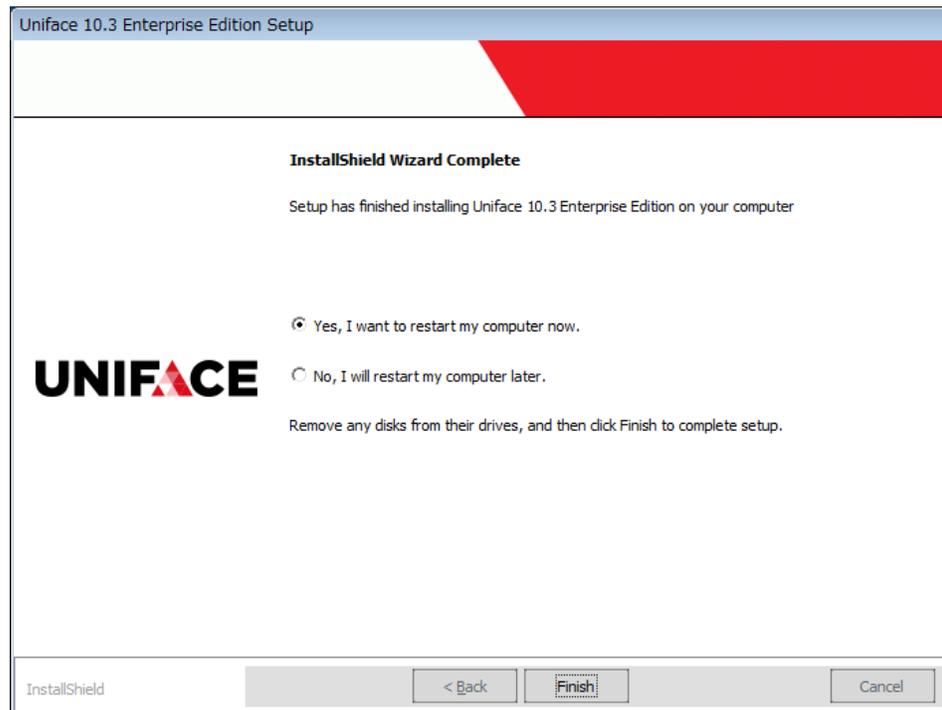
選択内容確認画面が表示されますので、「Next」をクリックして下さい。



ファイルのコピーと各種設定が実行されます。



完了すると、再起動を行うか選択する画面が表示されます。



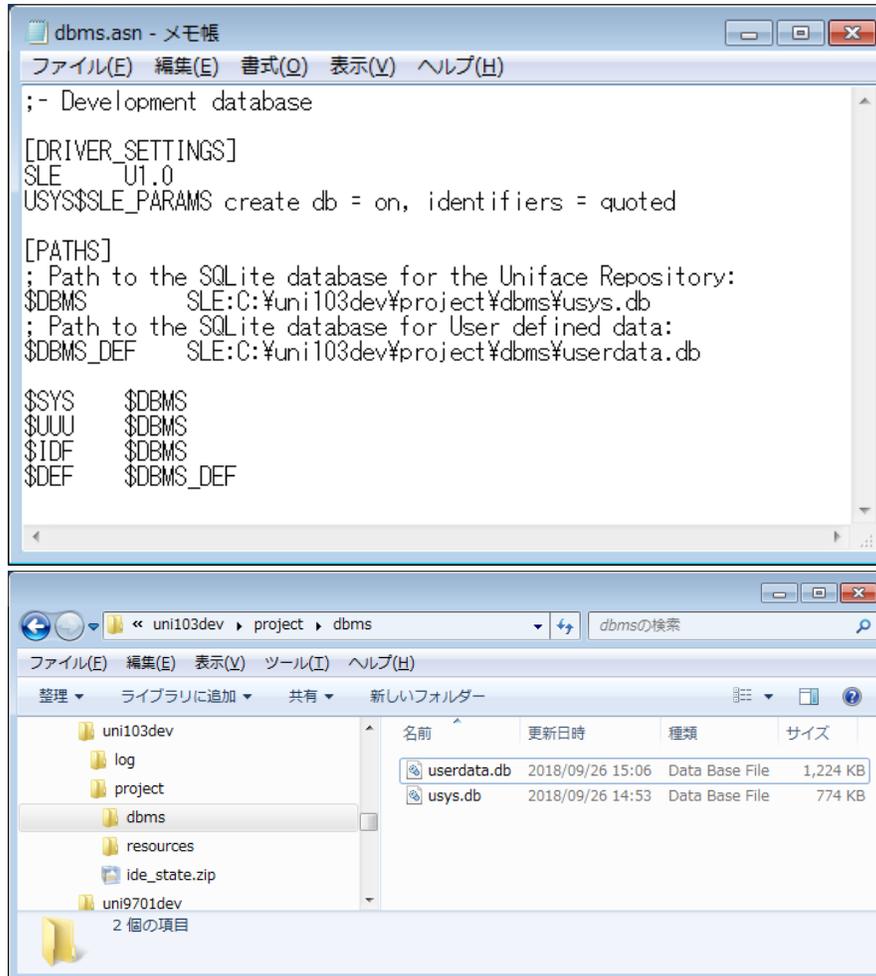
「Yes, I want to restart my computer now.」が選択されている事を確認して「Finish」をクリックします。

第 5 章 インストール後の設定

インストール終了後、開発環境の起動を確認します。今回はデフォルトで使用可能となっているデータベース SQLite を使用した場合についてご説明いたします。その他の DBMS をご使用の場合には、それぞれに応じた適切な設定を行ってください。また、最新パッチの適用手順について説明しています。併せてご参照ください。

5-1 SQLite データベースを使用する場合の設定

Uniface 10 で使用する SQLite データベースは、アサインメントファイルに格納場所が記述されています。デフォルトでは、インストール時に指定した作業ディレクトリ内の「project¥dbms」が格納場所に指定されています。



SQLite は特に試用期限はありません。また、Uniface 使用ライセンス以外のライセンス購入も不要です。

その一方で、ユーザやパスワードセキュリティの機能が存在せず、ストアプロシージャも使用できないため、これらの機能が必要な場合は別の DBMS の使用をご検討ください。

5-2. 最新パッチの適用

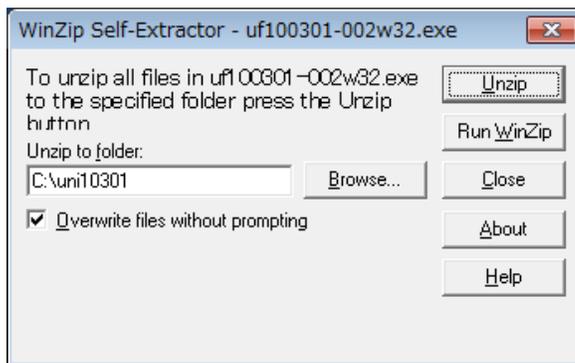
ここでは、3-3.にてダウンロードしたパッチの適用について解説しています。Uniface を使用するにあたっては、できるだけ最新のパッチを適用することを推奨します。各パッチには以前の改修内容も含まれているので、最新のモジュールの適用のみで問題ありません。

1) Uniface モジュールの停止

パッチ適用を行うマシン上の**すべての Uniface モジュールを停止**させてください。
サービスとして起動している **Urouter サービスも忘れずに停止**ください。
もし Uniface モジュールが起動している状態でパッチを適用してしまった場合、
上書きによるエラーで正しく適用ができません。

2) パッチの適用

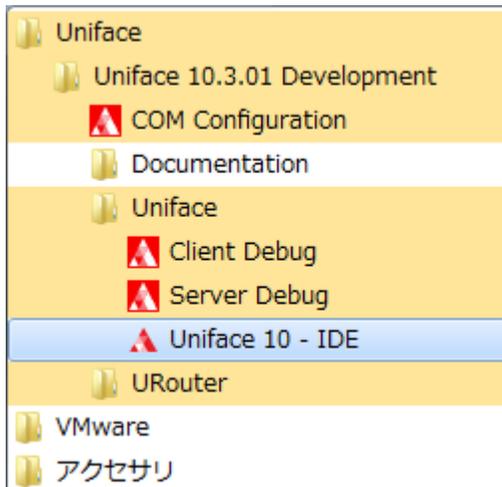
ダウンロードされた Windows のパッチは自己解凍式になっていますので、EXE を
右クリックから「**管理者として実行**」を選択して実行後、Browse ボタンで Uniface の
インストール フォルダを選択し、Unzip ボタンで上書きインストールを実施してください。



パッチ適用が無事に終了しましたら、停止していたサービスを手動で開始させるか、
マシンを一度再起動してください。

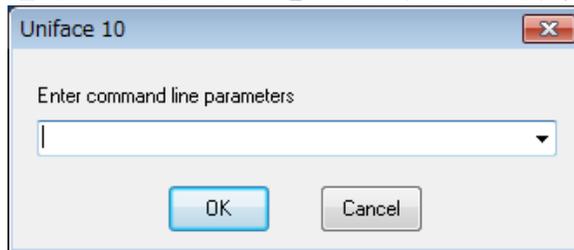
5-3. 開発環境の起動

パッチが適用できましたら、[スタートボタン] → [すべてのプログラム] → [Uniface] → [Uniface 10.3.01 Development] → [Uniface] → [Uniface 10 - IDE] を選択し、Uniface 開発環境を起動します。



1) コマンドラインパラメータ画面

通常はここでOKボタンをクリックするだけです。



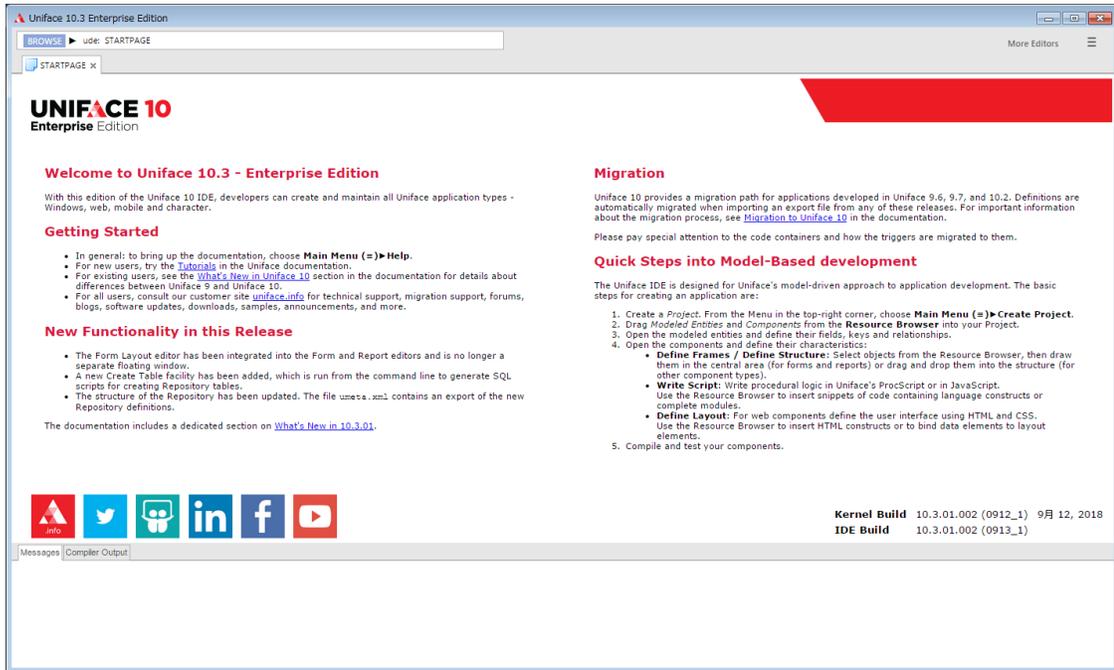
2) Unifaceデフォルトのインポート

初回起動時のみ以下のメッセージが表示されます。「Load default templates」ボタンをクリックして、Unifaceデフォルト(utemplates.xml)をロードしてください。



3) 開発画面の表示

正しく開発環境が起動できると、下記の画面が表示されます。

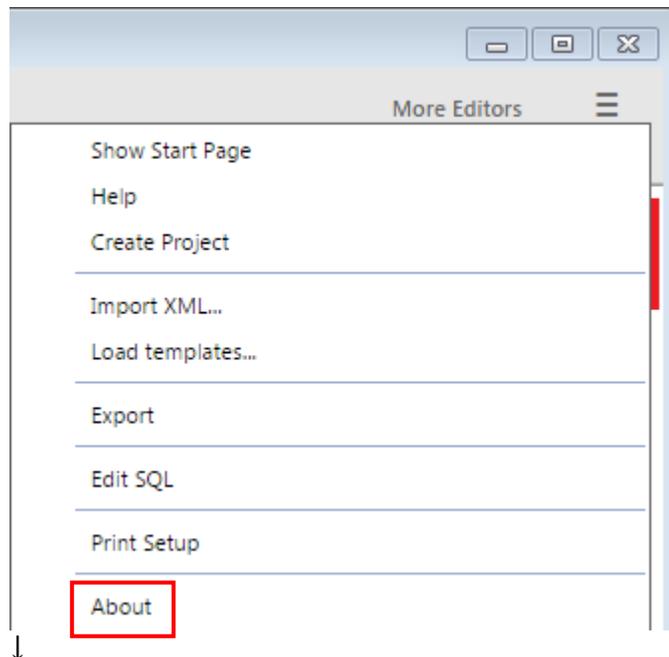


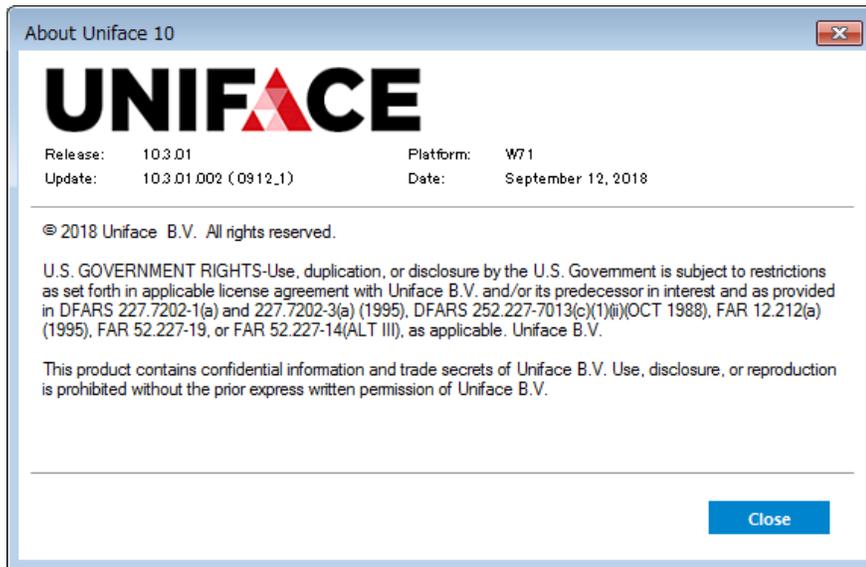
4) バージョンの確認方法

開発環境初期画面の右下で、バージョンと適用されたパッチが確認できます。

Kernel Build 10.3.01.002 (0912_1) 9月 12, 2018
IDE Build 10.3.01.002 (0913_1)

また、メニューから「About」を選択するとより詳細な情報が確認できます。



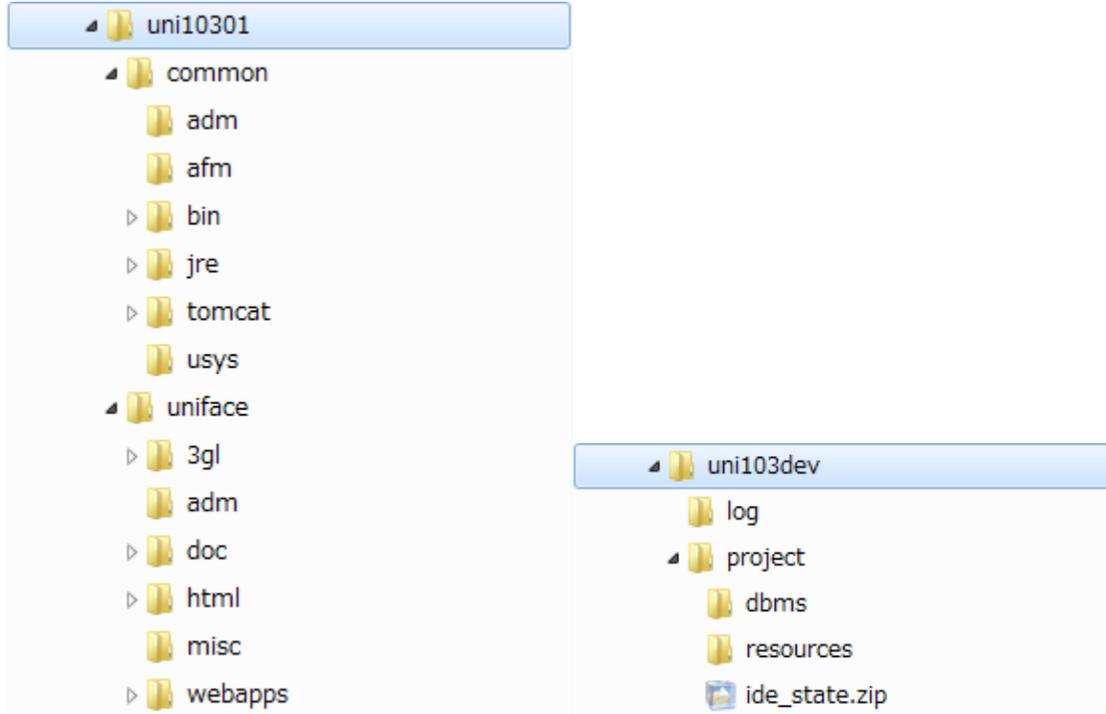


この例では、パッチ10.3.01.002が適用されていることが確認できます。

必須: お客様の環境でパッチバージョンが異なったマシンを混在させて使用することはサポートされておりません。
また予期せぬエラーの原因になります。必ずサーバー／クライアント、開発環境／実行環境で統一されたパッチのバージョンでの運用を行ってください。

5-4. フォルダ構成および作業フォルダ

Uniface が使用するデフォルトアサイメントファイル(idf.asn)と初期化ファイル(usys.ini)は Unifaceインストールフォルダ¥uniface¥adm フォルダ配下に存在し、Uniface Router をご使用のお客様はUniface インストールフォルダ¥common¥adm フォルダ配下に存在する urouter.asnがデフォルトで使用されます。またコンパイル済みコンポーネントオブジェクトが作成されていました作業フォルダは、インストール時に指定した C:¥uni103dev 配下の project¥resourcesフォルダに変更されています。



— 以上 —